

いいまちづくり 観音寺輝き隊通信

令和五年 八月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー ③9】

《奥村土牛》その2

琴弾八幡宮にある「琴弾女神の像」の台座に彫られた『琴』という文字は日本画壇の大御所と言われる奥村土牛（おくむらとぎゅう）によるものです。「土牛」という雅号は『土牛、石田を耕す』という寒山詩の一節から父親が

命名しましたが、急がずたゆまぬ精進を続ける姿はイメージ通りの人でした。大器晩成の画家とも言われ十六歳で始めた日本画が評価されたのは四十七歳でした。



奥村土牛 「朝顔」 から

七十歳で発表した「鳴門」は夫人の法事で徳島に出かけた帰りに見た渦潮を描いた作品です。絵の具を幾重にも塗り重ね渦を巻く波の様子を巧みに表現しています。「鳴門」は現代日本画の最高傑作と言われています。また「富士」の絵は著明で皇居にも飾られています。土牛は幾たびの戦争を経験し関東大震災や空襲で家財を二度も消失しつつも対象に真摯に向き合い、温かみのある日本画を描き続けました。幼少期から病弱だったにもかかわらず明治・大正・昭和・平成を生きぬき百歳の「琴」の文字は百一歳のときに書かれたものです。

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は 8 月 7 日 です。

午前八時～九時（雨天：8 月 14 日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ 080-3211-1962

【琴弾公園クイズ52】

琴弾公園入り口にある琴弾八幡宮の境内、十王堂前に昭和五年五月に大鳥居が建立されました。この材質は？

- ① 石
- ② 青銅
- ③ 木

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



梅は漬けても煮ても焼いてもどのように調理しても酸っぱさが抜けないことから、自分を変えようとしないう頑固な性格を**梅根性**（うめねいせい）と言います。それに対して渋柿でも焼いたり干したりするとすぐに甘くなるので優柔不断で変わりやすい性格を**柿根性**（かきねいせい）と言うのだそうです。言い換えれば、信念を貫く頑張り屋さんが**梅根性**で、頭が柔らかく融通の利くのが**柿根性**。どちらも言い方ひとつ、結果の出方で評価が変わってるところですが「根性」自体が死語になりつつある昨今です。そして、どこに植えても生き延びる、桜と違って散り際が悪く未練がましい例えとして**菊根性**（きくねいせい）という言葉があります。最近ではそんな生き方にちよつと憧れがあります。



◆いいまちづくり 観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。